

2018年3月期 第2四半期 決算説明資料

株式会社 京写

証券コード：6837

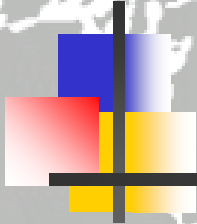
2017年 11月 28日

I. 会社概要

II. 2018年3月期第2四半期 決算概要

III. 2018年3月期 業績予想





I. 会社概要

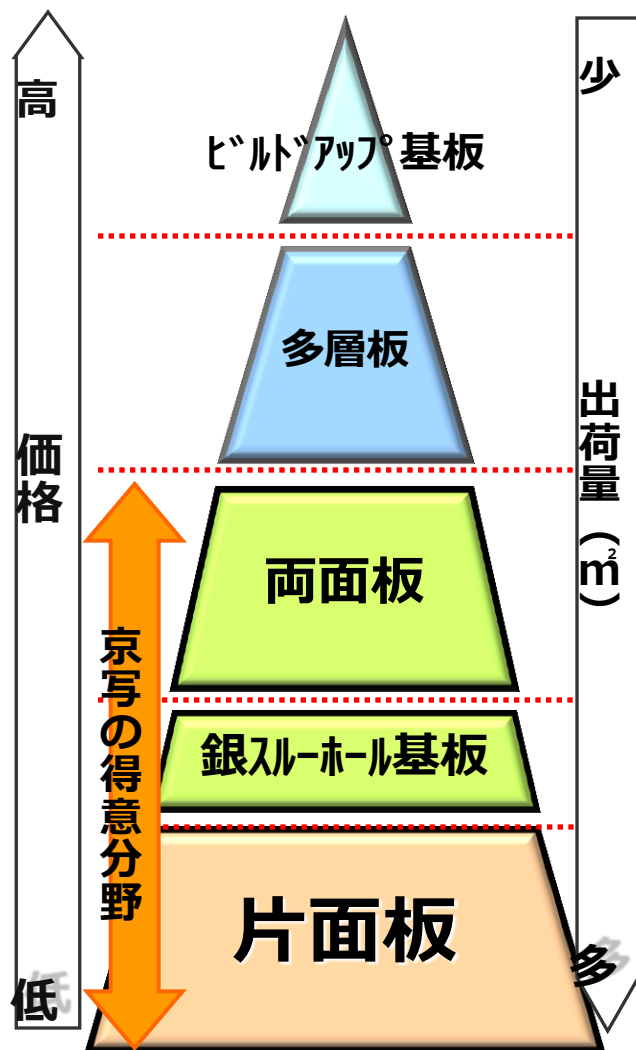
- **社 名** 株式会社 京 写
- **代 表 者** 代表取締役社長 児 嶋 一 登
- **所 在 地** 京都府久世郡久御山町森村東 3 0 0
- **設 立** 1 9 5 9 年（昭和 3 4 年） 2 月
- **上 場** 東京証券取引所 JASDAQ市場（証券コード： 6 8 3 7）
- **資 本 金** 1, 1 0 2 百万円（発行済株式数 14,624千株）
- **事業内容** プリント配線板及び実装搬送治具の製造販売
- **主要製品** 片面プリント配線板、両面プリント配線板、多層プリント配線板
電子部品実装、実装搬送治具
- **従業員数** 連結 1, 4 3 5 名
- **主取引先** 自動車関連、家電製品、事務機、映像関連、アミューズメント
その他（電子部品、音響機器等）
- **決 算 日** 3 月 3 1 日
- **関係会社** 連結子会社数 10社（2017年 9 月 3 0 日現在）

プリント配線板の種類と主な用途

プリント配線板の種類

説明

主な用途



ビルドアップ基板は多層板の一種ですが、配線を微細化した高密度多層プリント配線板です

両面にだけでなく内部にも導体パターンを構成するプリント配線板です

両面に導体パターンを構成するプリント配線板です（銅メッキにより両面を導通させています）

両面板の一種です（銀ペーストで両面を導通させています）

片面のみに導体パターンを構成するプリント配線板です

◆半導体

◆通信機器（スマートフォン等）

◆精密機器（デジタルカメラ）

◆パソコン

（ハードディスク、ネットワーク機器などの各種コンピュータ周辺機器）

◆自動車（ライト、インパネ等）

◆アミューズメント機器（パチンコ・ゲーム機）

◆自動車（カーオーディオ）

◆事務機（OA端末）

◆事務機（複写機、プリンター等）

◆家電製品（LED照明機器・エアコン・テレビ・DVD・洗濯機・冷蔵庫等）

プリント配線板が使用されている主な製品



◆電気を使用する製品にはすべてプリント配線板が使用されています。



※上記写真については、一般的にプリント配線板が使用されている製品例を示したものです。

1. グローバル生産拠点から世界中へ製品を供給

日本、中国、インドネシアで生産、世界中へ販売…

2. 片面板で世界最大の生産能力

片面板45万m²/月

3. 幅広い製品用途と顧客層

自動車、家電、事務機、映像、アミューズメント、産業機器等
口座数 約1,300（国内1,000口座、海外300口座）

4. プリント配線板関連技術の開発

環境対応製品・実装搬送治具の開発と展開

京写グループマップ

中国グループ

名 称	主要事業	株式所有割合	決算期
京写香港	販売	100.0%	12月
京写広州	生産/販売	95.0%	12月
京写広州貿易	販売(元建)	100.0%	12月



京写広州



京写インドネシア

東南アジア

名 称	主要事業	株式所有割合	決算期
京写インドネシア	生産/販売	95.5%	3月
京写タイランド	販売	99.9%	12月
京写マレーシア	販売	100.0%	12月

連結子会社数 10社 (2017年9月30日現在)

国内グループ

名 称	主要事業	株式所有割合	決算期
京 写	生産/販売	—	3月
三和電子	部品実装	100.0%	1月



京都本社



九州工場



新潟工場

関東テック (埼玉)



関東テック (横浜)



三和電子

北米

名 称	主要事業	株式所有割合	決算期
京写ノースアメリカ	販売	100.0%	12月
京写メキシコ	販売	99.9%	12月

東アジア

名 称	主要事業	株式所有割合	決算期
京写韓国	販売	100.0%	12月

◆片面プリント配線板

生産拠点	生産能力/月産
九州工場	80,000m ²
中国工場	220,000m ²
インドネシア工場	150,000m ²
合計	450,000m ²

◆両面プリント配線板

生産拠点	生産能力/月産
京都工場	15,000m ²
新潟工場	15,000m ²
中国生産提携工場(両面・多層)	120,000m ²
中国工場(銀メッキホール)	40,000m ²
合計	190,000m ²

片面プリント配線板世界最大の生産量
月産、東京ドーム建築面積約10個分
年間115個分の面積に相当

東京ドーム
面積
46,755m²



Kyosha ECOMAP

(**ECOMAP** = **ECO**LOGY **MA**NAGEMENT
PRINTED WIRING BOARD)

Dust Less = Kyosha-MAX[®] 防塵対策基板

破断面からの粉落ち削減、粉レス基板

Heat Less = Kyosha-Nacora[®] 熱伝導放熱基板

独自開発の熱伝導インクと回路設計で高熱伝導を実現

Space Less = Kyosha- Fine Technology

ファイン回路片面基板

ファイン回路を印刷法で実現
(ライン/スペース = 100/100ミクロン)

長尺基板 = Kyosha- Long Size

世界最大サイズ基板 長さ1200ミリメートルを印刷法で実現

実装搬送用治具 = MagiCarrier[®] 次世代搬送キャリア

約1千回繰り返し使用可能、粘着力変わらず使用後はがし易い



新製品(開発中含む)について

印刷技術の京写が繰り出す “もう一つの付加価値”

- 銅インクフィルム基板 …プリンタブル基板
印刷法を用い銅ペーストで直接回路を形成する環境にやさしい

素材が薄くスマートフォンやデジタルカメラ等で利用期待

- ストレッチャブル基板 …プリンタブル基板
印刷法を用い伸縮性のある材料に直接回路を形成し伸縮が可能

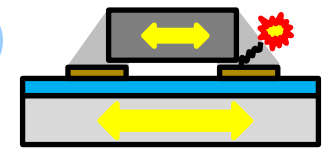
ウェアラブル製品で利用可能

- 屈曲アルミベース基板 …車載テールランプ等曲面で利用可能
折り曲げて形状を保持できるアルミ基板を印刷法で実現



- 耐はんだクラック金属基板
実装部品と金属基板の熱膨張差から発生する“はんだの割れ”を絶縁層最適化により割れを防止

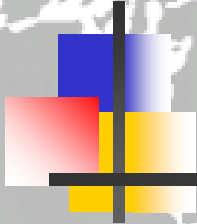
主に自動車用途で技術課題への対応



- **MagiCarrier-β**
フィルム素材に粘着性樹脂を塗布し凹凸部への貼付けも可能な高耐熱粘着シート

ディスプレイ等平らなものから凹凸部品等多用途に利用可能





Ⅱ. 2018年3月期第2四半期 決算概要

2018年3月期第2四半期決算業績サマリー



■ 主材料費上昇があるも、国内向け好調により増益

(単位：百万円)

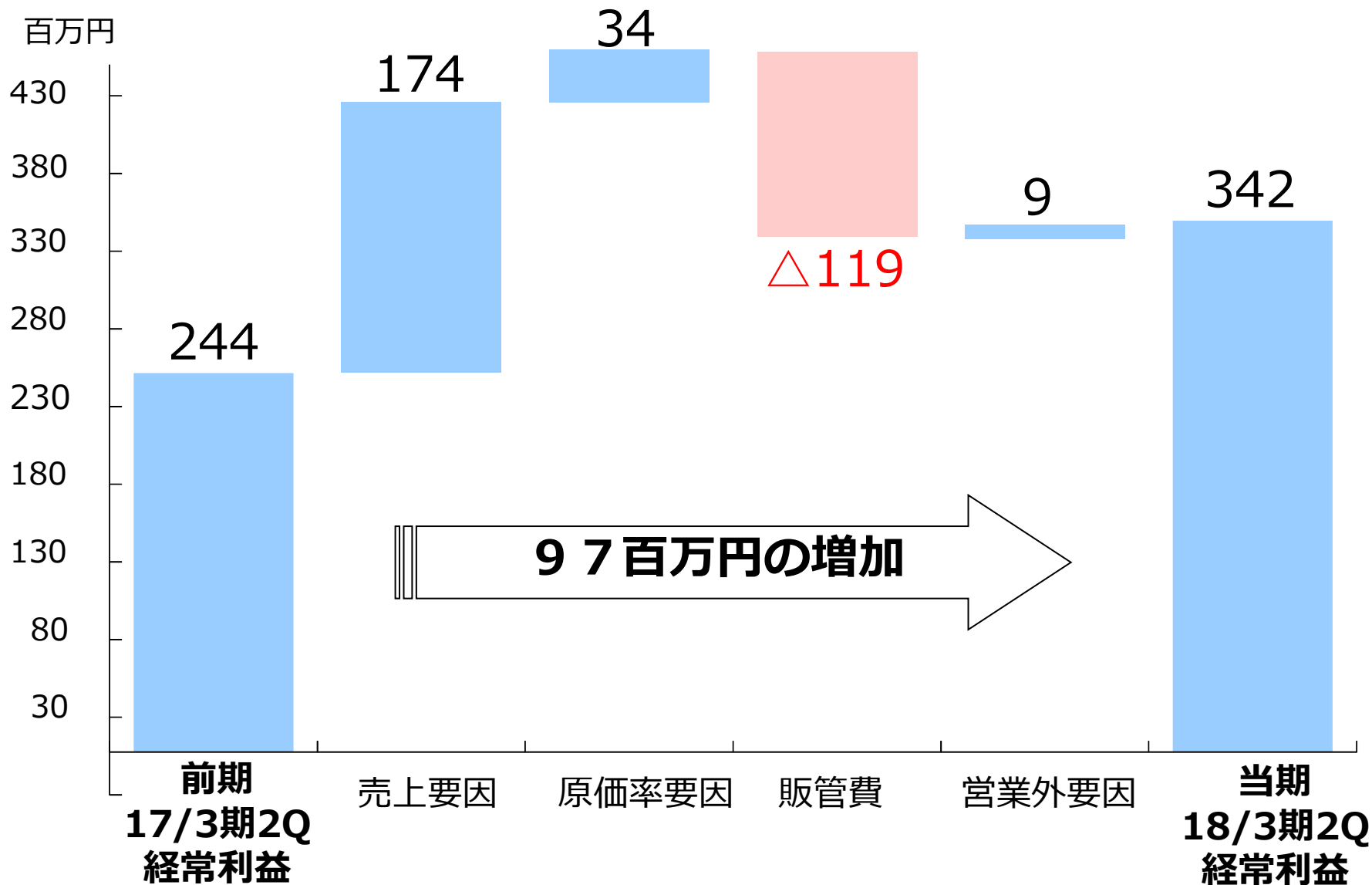
連結	前期実績 (2017年3月期2Q)	当期実績 (2018年3月期2Q)	増減額	前期比
売上高	9,345	10,307	962	110.3%
営業利益	236	324	88	137.3%
経常利益	244	342	97	139.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	187	232	44	123.9%
営業利益率	2.5%	3.1%		

(単位：円)

為替レート(US\$)	105.29	111.06	5.77	105.5%
(HK\$)	14.40	14.46	0.06	100.4%

経常利益の増減前期比較

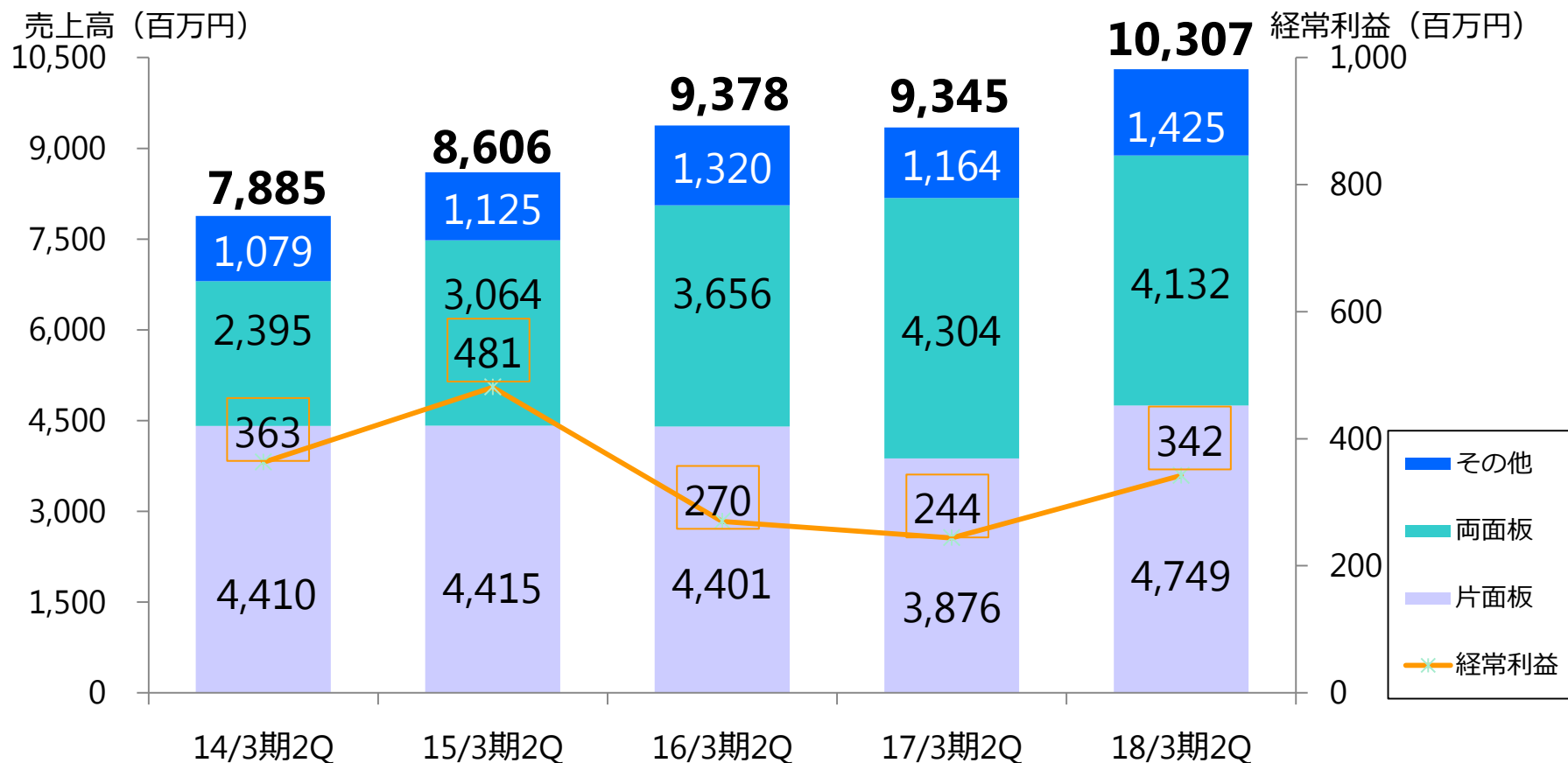
■ 主材料費上昇があるも、国内向け好調により増益



業績推移



■片面板及びその他が増加、直近5期の中で最高売上



為替レート

	2014年3月期2Q	2015年3月期2Q	2016年3月期2Q	2017年3月期2Q	2018年3月期2Q
US\$	98.85	103.04	121.80	105.29	111.06
HK\$	12.32	13.21	15.51	14.40	14.46

※両面板には一部、多層板と銀メッキ基板を含んでいます。

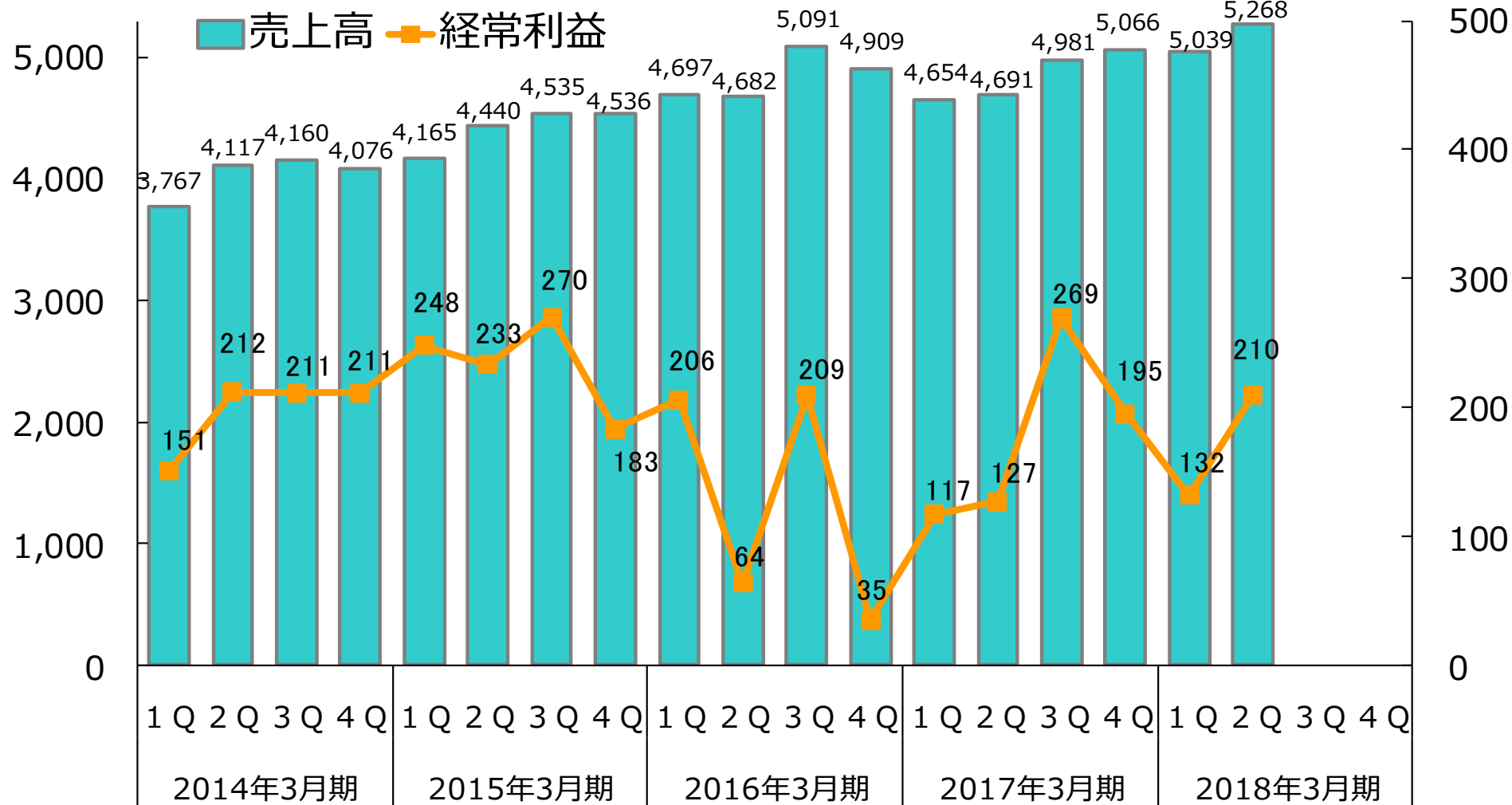
四半期毎の業績推移



■ 売上高は前期下期からの国内好調を維持

売上高 (百万円)

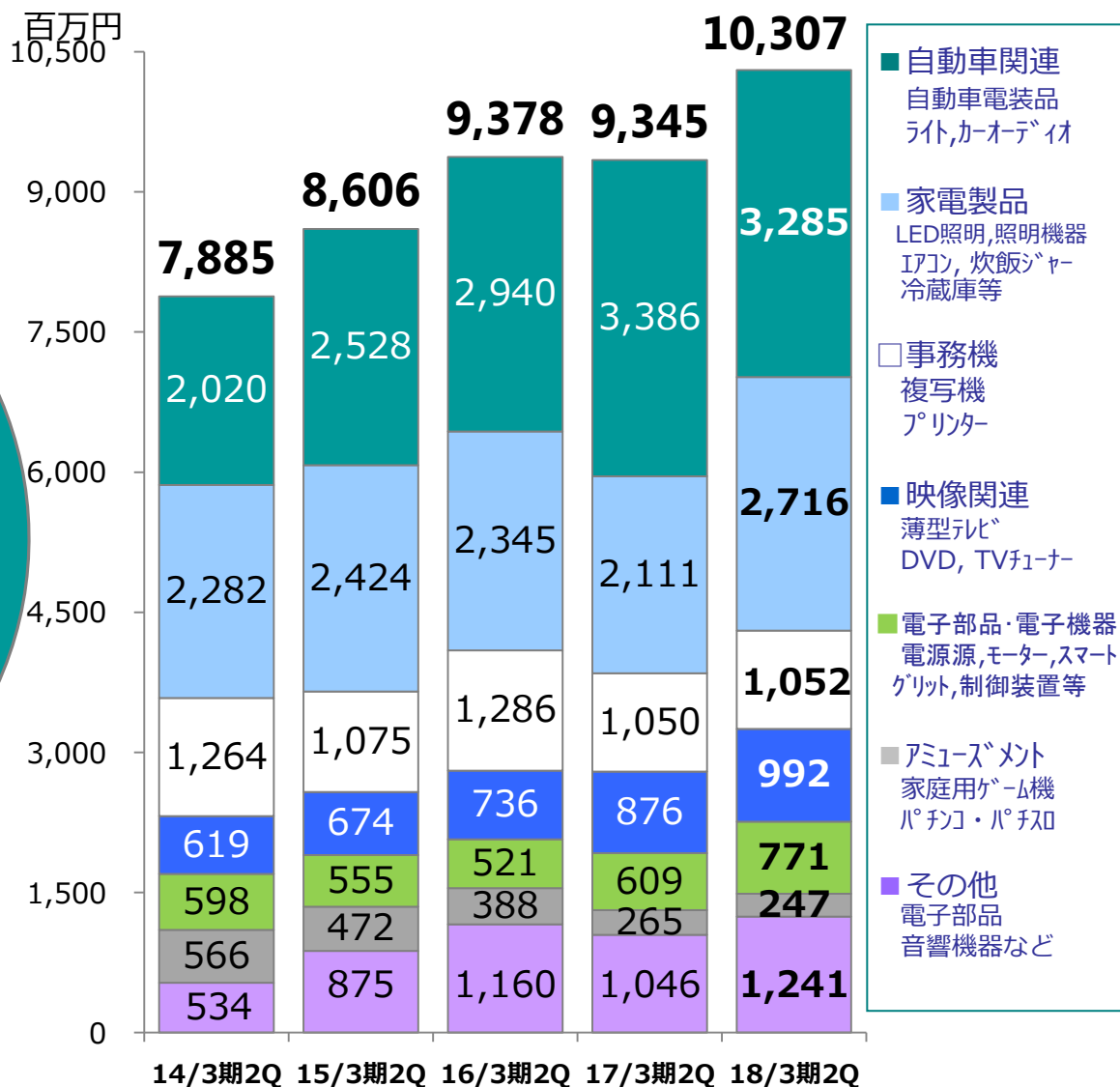
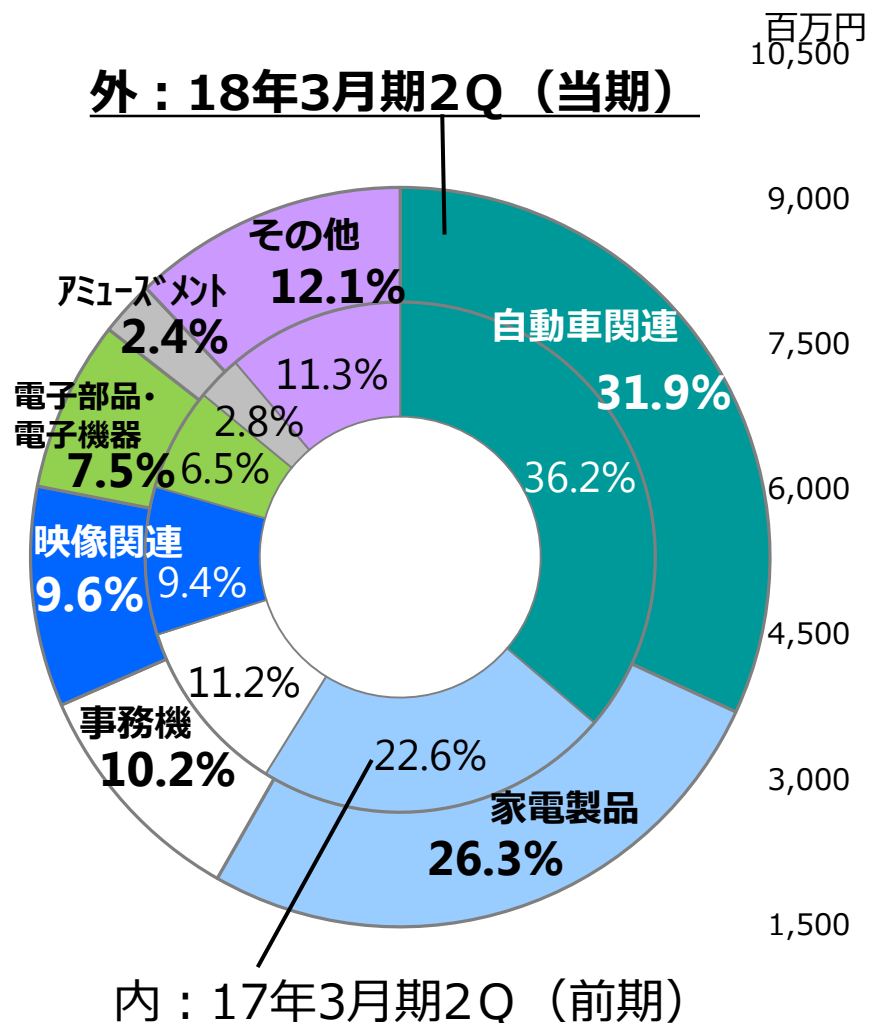
経常利益 (百万円)



用途別売上高

■ 非日系向けの家電製品好調

外：18年3月期2Q（当期）

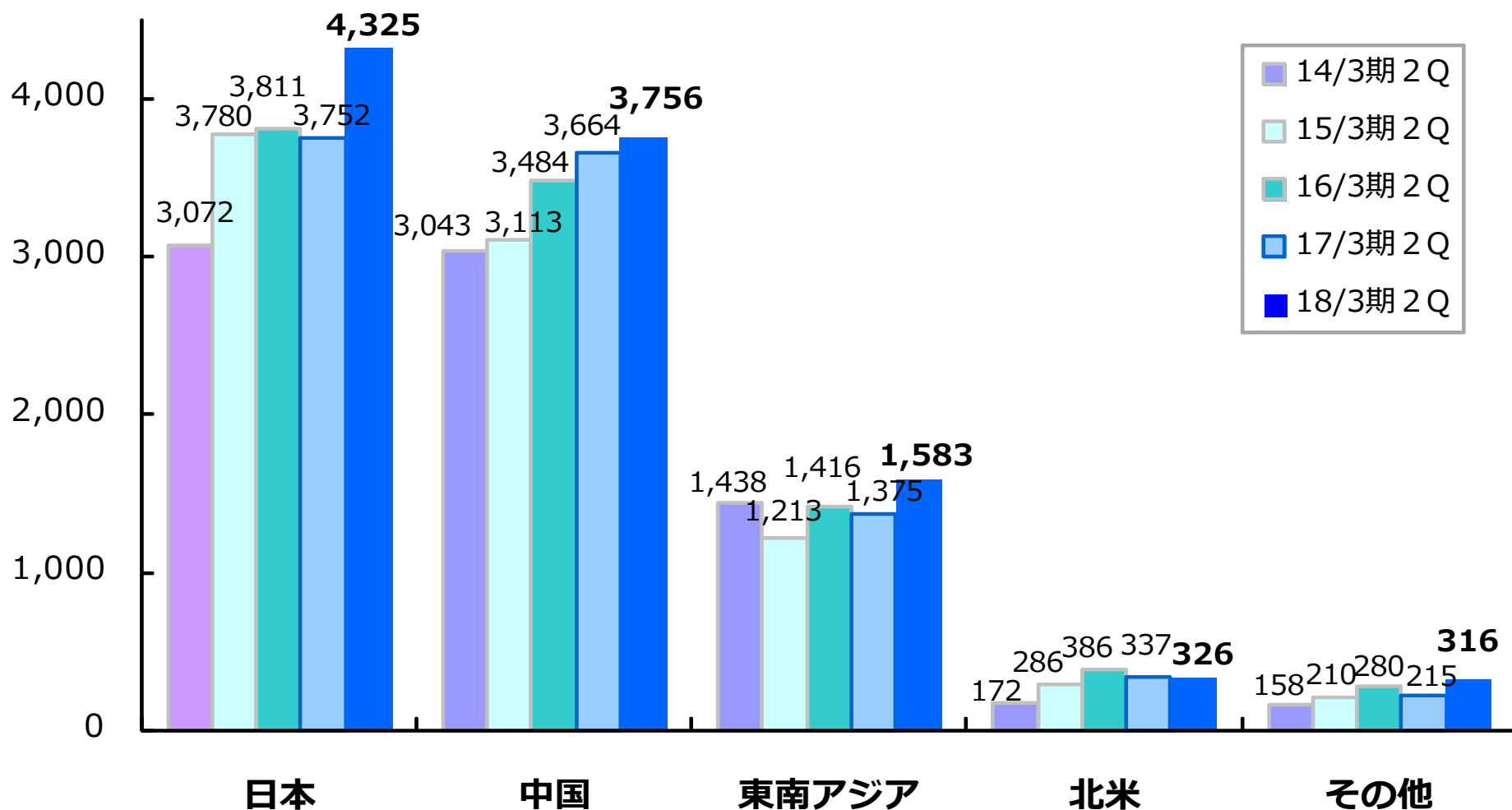


地域別売上高推移



■ 日本向け、東南アジア向け売上好調

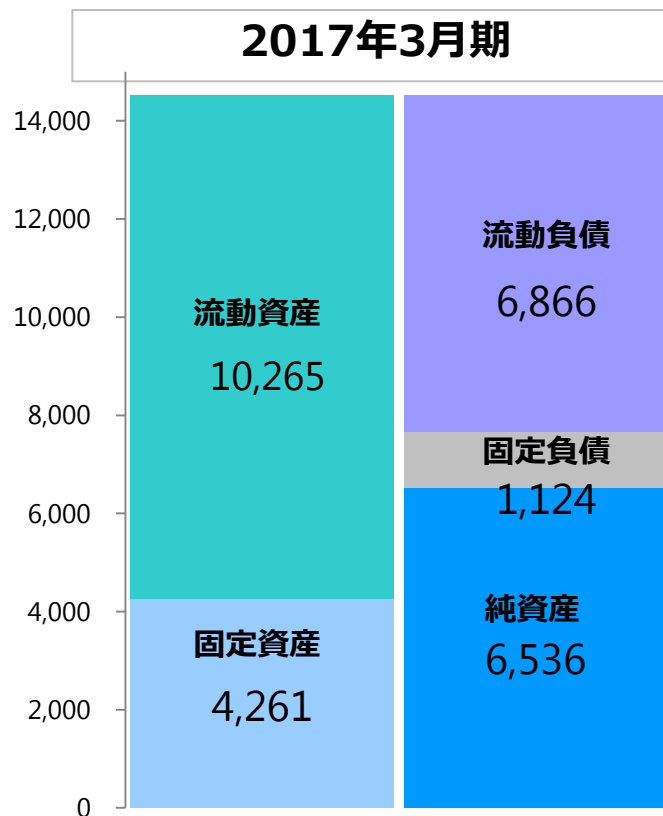
百万円



貸借対照表

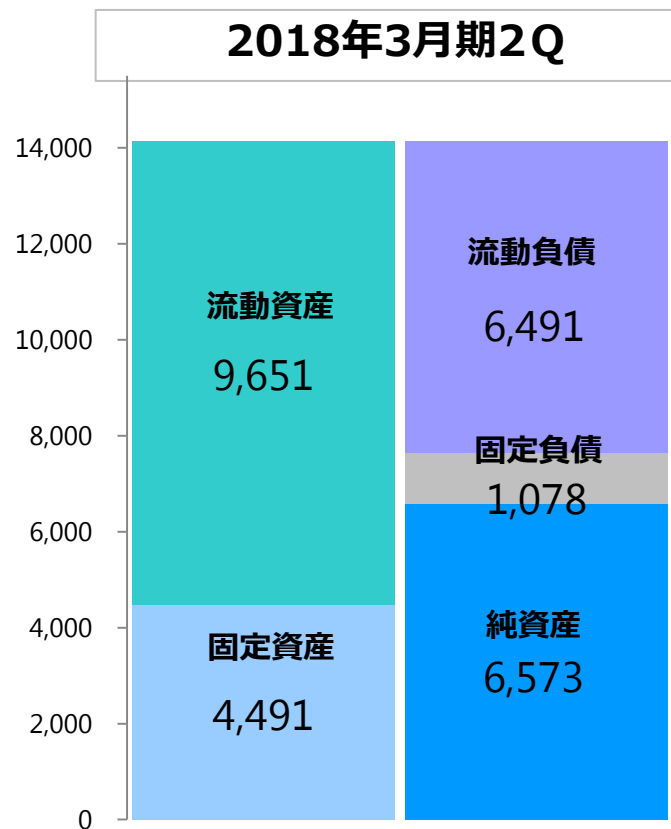
■ 健全な財務体質の維持

(単位：百万円)



総資産 14,526

経営指標	2017年3月期
流動比率	149.5%
有利子負債依存度	20.1%
自己資本比率	44.1%

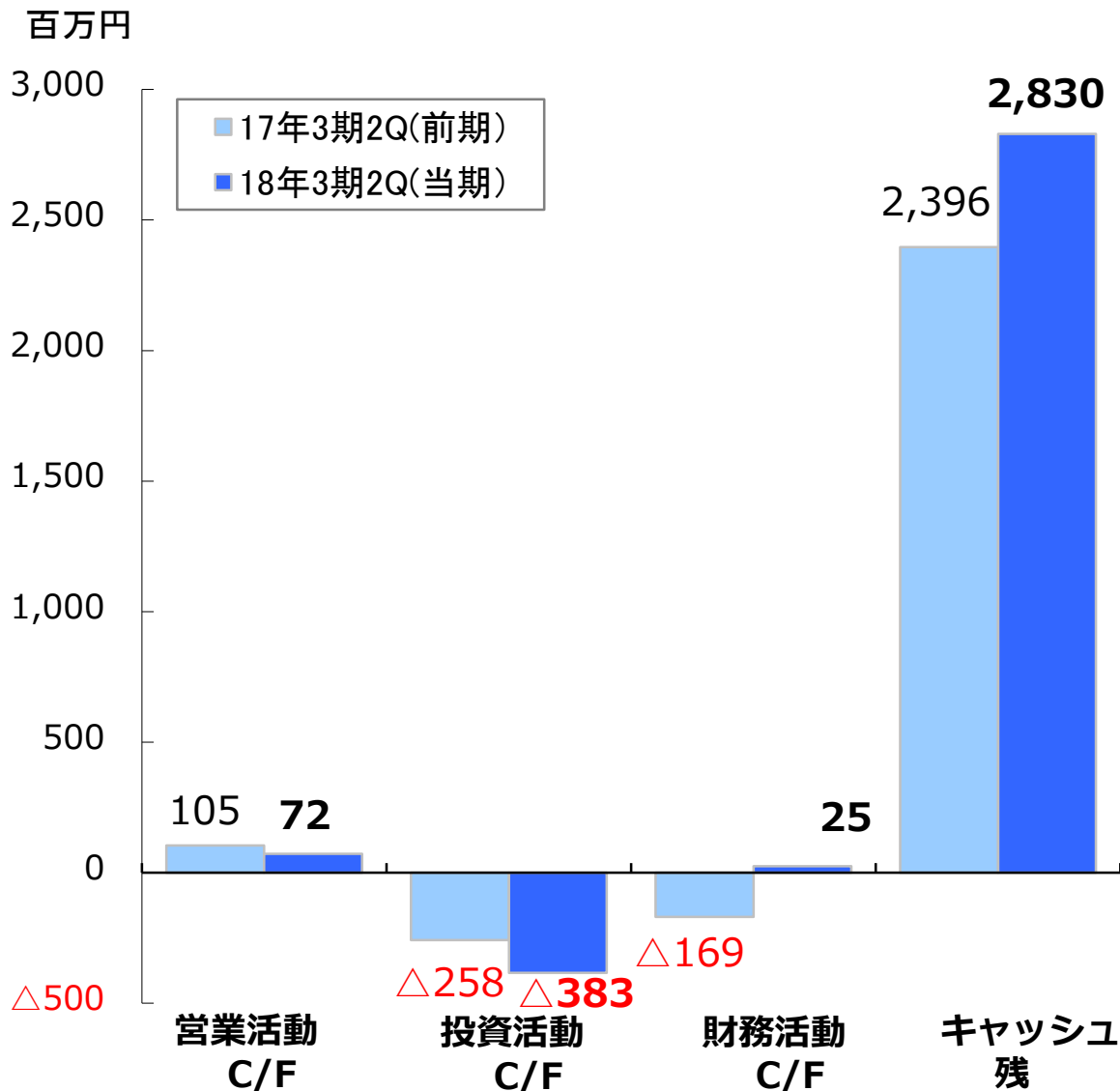


総資産 14,142

経営指標	2018年3月期2Q
流動比率	148.7%
有利子負債依存度	23.5%
自己資本比率	45.6%

キャッシュ・フロー計算書

■ 投資活動及び財務活動C/Fは営業C/F内で活動



<特記事項>

営業活動C/F 72百万円

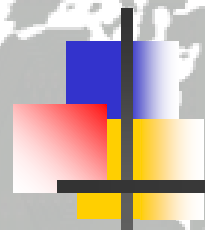
税引前利益	336百万円
減価償却費	276百万円
売上債権の減少	8百万円
たな卸資産の減少	24百万円
仕入債務の減少	△616百万円
法人税等の支払減	14百万円

投資活動C/F △383百万円

有形固定資産の取得	△322百万円
設備、環境改善投資	
投資有価証券の取得	△59百万円

財務活動C/F 25百万円

短期借入金純増額	221百万円
長期借入金純減額	△65百万円
配当金の支払額	△113百万円



Ⅲ. 2018年3月期 業績予想

2018年3月期 業績予想

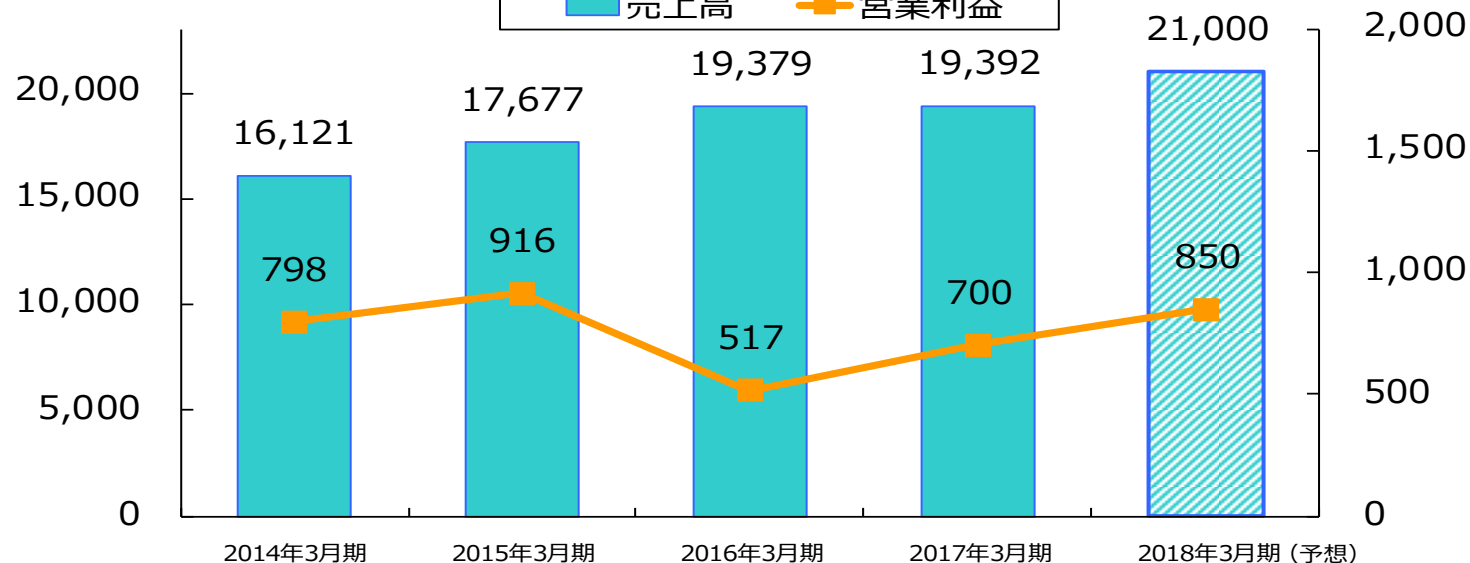
(単位：百万円)

連結	業績予想 (2018年3月期)				(参考)
	通期	前期比	上期実績	進捗率	前期上期実績
売上高	21,000	108.3%	10,307	49.1%	9,345
営業利益	850	121.3%	324	38.1%	236
経常利益	800	113.0%	342	42.8%	244
親会社株主に帰属 する当期純利益	550	99.1%	232	42.2%	187
営業利益率	4.0%	—	3.1%	—	2.5%

売上高(百万円)

■ 売上高 ■ 営業利益

営業利益(百万円)



(参考) 株価推移及び株主還元

出所 : Yahoo! ファイナンス

2017/11/22

KYOSHA CO.,LTD.



項目	14/3期	15/3期	16/3期	17/3期	18/3期予想
1株当たり当期純利益(円)	36.25	47.82	33.04	38.71	38.38
1株当たり配当金(円)	5	8	8	8	8
配当性向	13.8%	16.7%	24.2%	20.7%	20.8%
配当利回り	1.9%	1.5%	2.3%	2.2%	1.6%(※)

(※)18/3期予想「配当利回り」は1Q終値を基に算定

この資料には株式会社京写の将来の計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。これらの記述は過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信にもとづく見込みです。

また経済動向、市場需要、為替レート、税制や諸制度等に関わるリスクや不確実性も十分に含んでいます。それゆえ実際の業績は当社の見込とは異なるかもしれない事をご承知おき下さい。